

弘前大学

# 國史研究

第153号

〔論文〕

大名が一番大事にした文書  
—盛岡南部家宛徳川將軍家領知宛行状考—(上)  
千葉 一大 1  
北奥外様小藩八戸藩における鷹狩りについて  
中野渡一耕 20

〔研究ノート〕

弘前城下近郷の豪農石戸谷家について  
—附 旧石戸谷家文書目録—  
福井 敏隆 40  
小石川 透

〔書評〕

浪川健治編  
『十八世紀から十九世紀へ』  
—流動化する地域と構造化する世界認識—  
木村 直也 66  
萱場真仁著  
『近世・近代の森林と地域社会』  
脇野 博 72  
八戸の歴史双書  
『八戸藩遠山家日記』第十卷  
中園 美穂 77  
「必要」に答えるための研究  
—内山大介・辻本侑生著『山口弥一郎のみた東北』  
—津波研究から危機のフィールド学へ—  
山田 巖子 82

『弘前大学國史研究』投稿規定

- ◎ 論文 四百字詰 60枚程度を原則とする(縦書き、以下同様)
- ◎ 研究ノート 四百字詰 20枚から30枚程度
- ◎ 研究余録 四百字詰 10枚程度
- ◎ 史料紹介 四百字詰 10枚から30枚程度
- ◎ その他(書評・研究動向・歴史随想など) 四百字詰 10枚から20枚程度
- ◎ パソコン等による執筆は、32字×23行で組んで下さい。
- ◎ デジタルデータによる投稿も可能です。ただし、本文と図版は別のファイルにし、図版の挿入箇所及び大きさ等を本文中に明示して下さい。
- ◎ 横書き原稿を希望する時は、あらかじめ本会へご相談下さい。
- ◎ 原稿締切 一月末と八月末の年2回
- ◎ 投稿申込は原稿締切の1ヶ月前までに事務局に申し込んで下さい。事務局のメールアドレス [hirodaikokushi@gmail.com](mailto:hirodaikokushi@gmail.com)
- ※ 投稿に際しては、図表を最小限におさえ、完成原稿をお願いします。また、原稿は必ずお手元でコピーをとって保存しておいて下さい。投稿は本会会員に限ります。
- ※ 掲載については、原稿を受領後、編集担当者会議で審査し、審査終了後にご通知します。なお、文中に掲載許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、掲載決定後、著者の責任において権利者から許可の承諾書を取得して下さい。
- ※ 掲載された論文等については、原則として弘前大学学術情報リポジトリで公開します。公開許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、リポジトリ公開についても、著者の責任において権利者からの許可手続きを行って下さい。
- ※ 掲載分の論文等については、PDFまたは抜刷30部をさしあげます。
- ※ 本誌掲載の論文等を転載する場合は、本会の了承を得て下さい。

—彙報—

◎弘前大学國史研究会例会を左記の通り開催した。

第九八回 根本みなみ氏「家」の視点から見る「御家」——「御家」

という共同体をめぐる大名・家臣の意識と行動——

令和四年七月二十四日（日） 弘前大学人文社会科学部多目的ホール

第九九回 兼平賢治氏「東北諸藩の日記と史料の残存状況」

令和四年十月二十九日（土） 弘前プラザホテル

◎令和四年度第一回弘前大学國史研究会役員会を、令和四年十月二十日

（木）に開催し（オンライン会議）、総会内容及び会誌編集について確認した。

◎令和四年度弘前大学國史研究会大会が、令和四年十一月六日（日）、

弘前大学創立五〇周年記念会館岩木ホールで開催された。

研究報告は左記の通りである。

「江戸藩邸由来対馬宗家文書の伝来

——明治・大正期における養玉院保管分の売立・売却——

弘前大学人文社会科学部助教

古川祐貴氏

「地域社会の「危機」を捉える民俗学的視座の構築に向けて

——山口弥一郎の北東北研究の再検討から——

弘前大学地域創生本部地域創生推進室助教 辻本侑生氏

その後、弘前大学國史研究会総会が開催され、会務報告、会計監査報告、会計報告、会則審議、役員改選が行われた。会則については、第二条の「事務局」を現状に合わせ「事務局」に変更したいと事務局から提案があり承認された。ついで新役員の改選があり、会長には瀧本

壽史氏の再任が承認された。また、副会長以下の役員については会長一任が了承され、新たに古川祐貴氏が委員となり、他の役員は再任された。代表委員は委員の互選（会則第五条）により、大谷伸治委員と古川祐貴委員が選任された。新役員等は左記の通りである。

**弘前大学國史研究会役員名簿**（令和四年度～令和五年度）

○顧問 小口雅史

○会長 瀧本壽史

○副会長 関根達人 福井敏隆

○代表委員 大谷伸治 古川祐貴

○委員 石山晃子 北原かな子 工藤大輔 熊谷隆次 小石川透

竹村俊哉 鶴巻秀樹 古川淳一 本田 伸 三浦忠司

○監事 竹内勇造 藤田俊雄

◎青森県史編さん事業を引き継いでいる青森県庁環境生活部県民生活文化課文化・NPO活動支援グループから、次の連絡が入りましたので紹介します。

令和四年八月二十五日、「青森県史デジタルアーカイブス」が内閣府知的財産戦略推進本部の下に置かれた「デジタルアーカイブジャパン推進委員会・実務者検討委員会」から第一回「デジタルアーカイブジャパン・アワード」を受賞しました。アーカイブスによる県史編さん資料の利活用、地域情報の発信などを高く評価されてのことであり、青森県史編さんに御尽力された弘前大学國史研究会会員の皆さまに御報告いたしますとともに、改めて感謝申し上げます。

（HT）

令和四年十二月三十日

弘前大学 **國史研究** 第一五三号

036-8560 弘前市文京町一番地

弘前大学教育学部日本史研究室内

編集者 発行者 **弘前大学國史研究会**

振替口座 ○二三〇〇一―六三四番